



富久ソラからのうちゅうだより (本園)

～4月号～

ONE ROOF

「大きなおうち」を受け継ぎながら、子どもたちも職員も地域の皆さんも、みんながひとつ屋根の下で笑い、ひとつになり、そして成長して、未来を創り出す力を育てていこうという思いを込めています。

社会福祉法人東京児童協会
 富久ソラのこども園ちいさなうちゅう
 (本園) 〒162-0067 東京都新宿区富久町 14-1
 TEL 03-6380-0414
 (分園) 〒160-0022 東京都新宿区新宿 5-3-13
 TEL 03-6380-6437
 令和5年4月3日 発行
 園長 山口 隆子



ご入園、ご進級おめでとうございます。桜の花も満開を過ぎ、こども園の新しい一年が始まりました。今年度は、本園 28 名、分園 13 名の新入園児を迎え、本園 143 名、分園 36 名でスタートします。4 月は入園・進級に伴い、子どもたちは環境の変化を感じる時です。職員一同、子どもたちの不安な気持ちに寄り添い、安心して過ごせるよう努めてまいりたいと思います。ご家庭でも生活リズムを大切にいただき、お子さまについて心配ごとがございましたら小さなことでもお気軽にお声かけください。

私たちは、「大きなおうち」を教育保育理念とし、こども園が子どもたちにとって第二のおうちとして安心して過ごせるように子どもたちや保護者の皆さまと信頼関係を築き、子どもも大人も互いに支えあい、育ちあう園を目指します。大きなおうちの教育保育方針である「夢」「生きる力」「思いやり」「学びに向かう力」の 4 つを土台に、心の育ち・食の育ち・意欲の育ちの 3 つの育ちを大切に、子どもたちにとって「楽しかった、明日も行きたい、と思えるようなこども園」を職員と共につくっていきたいと思います。

昨年度までは新型コロナウイルス感染症対策のため、行事を中止・変更し、保護者の皆さまの園内立ち入りや活動参加の制限をさせていただきました。今年度は、日々の生活や行事の充実を図ると共に、異年齢の関わり、姉妹園や地域との交流など経験の幅を広げていきます。保護者の皆さまにも園での子どもたちの様子を知っていただく機会を作り、子どもたちを共に見守り成長を喜び合えるよう、今年度の運営を進めてまいります。引き続き、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。



4月の行事予定

日	曜	内容	対象
1	土	入園お祝い会	新入園児1. 3歳児
3	月	入園お祝い会 慣れ保育開始 進級式	新入園児0歳児 新入園児 3. 4. 5歳児
7	金	始業式	3. 4. 5歳児
9	日	クリアソン新宿 試合観戦	5歳児(希望者)
10	月	異文化交流 身体測定	3. 4. 5歳児 0. 3歳児
11	火	体育指導 身体測定	3. 4. 5歳児 1. 2歳児
12	水	身体測定	4. 5歳児
14	金	杉アート	5歳児
17	月	スポーツプロジェクト	5歳児
19	水	避難訓練	全園児
20	木	誕生会	全園児
24	月	異文化交流	3. 4. 5歳児
25	火	クッキング(味噌作り)	5歳児

～ 誕生会の保育参加について ～

当月の誕生児をお祝いする誕生会を行っています。今年度より誕生児の保護者の方の誕生会への参加(各ご家庭 1 名のみ)を再開いたします。お申し込みは、グーグルフォームにて受け付けます。期日厳守でお申込みいただきますようお願いいたします。参加時間等の詳細は、後日お知らせいたします。

～お知らせ～

今年度より、Kindyにてお知らせをします。
 ●毎日の給食・おやつ献立 → 「クラス投稿」
 ※①クラスの保育の様子 ②献立内容
 平日、2通を投稿します。
 ●土曜保育の様子・献立 → 「保護者へのお知らせ」
 ※土曜保育利用児のみ
 ご確認のほど、よろしくお願いいたします。





ホームページで公開は差し控えさせていただきます。

【 転入職員よりご挨拶 】

ホームページで公開は差し控えさせていただきます。

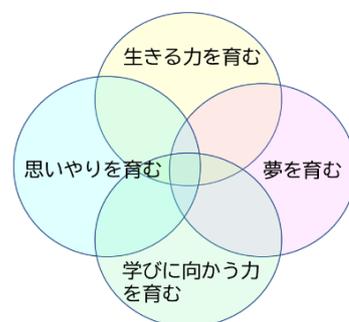
教育保育理念・方針

教育保育理念

- ◆わたしたちは、「おおきなうち」を理念に、子どもも大人もみんなが互いに育ちあう、家庭的なこども園をつくります。
- ◆わたしたちの願いは、家庭と子ども園が思いをひとつに一人一人の子どもたちの笑顔あふれる毎日を実現することです。
- ◆わたしたちの夢は、歴史の希望である子どもたちが、現在を最もよく生き、望ましい未来をつくり出す力の基礎を培うことです。

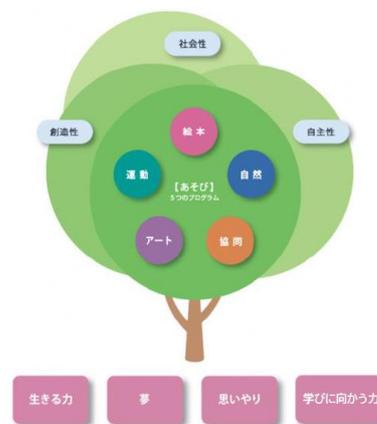
教育保育方針

0歳児から5歳児まで異年齢の子どもたちにとって、ゆったり生活できる場であるこども園を常に心がけ、各年齢の発達のプロセスや一人一人の育ちを大切にしています。生活や遊びを通して「生きる力」「思いやり」「夢」「学びに向かう力」の4つの教育保育方針を柱に教育保育を行います。



教育保育目標

- ◆自ら考え、判断し、行動しようとする子どもを育てます。
- ◆3つのそだち（こころの育ち・食の育ち・意欲の育ち）を大切に教育保育を行います。
- ◆遊びを中心とした5つのプログラム（運動・絵本・自然・協同・アート）を行います。



【 ご意見・ご要望 苦情解決第三者委員会について 】

園・法人にご質問、ご意見などございましたら、以下にお声かけください。
お困りのことがございましたら遠慮なくお申し出ください。

園の相談窓口	主任・副園長	03-6380-0414
相談・苦情解決者	園長	03-6380-0414
苦情解決第三者委員 (令和4年度より変更しています)	佐藤 恵美	080-3481-0550
	渡邊 高幸	080-3481-0562

年間目標



- ① 保育者との十分なスキンシップを通して、心身ともに快適な環境の中で、情緒の安定を図る。
- ② 安心できる環境の中で、聞く、見る、触るなどの感覚の動きが豊かになるようにする。
- ③ 保育者に見守られて、はいはい、つかまり立ち、つたい歩き、ひとり立ちの段階を経て歩行を獲得し、しっかりと歩けるようにする。
- ④ 喃語や片言を優しく受けとめてもらい、発語や保育者とのやりとりを楽しめるようにする。

<4月のねらい>

- ・一人ひとりの生活リズムで保育者や保育室に慣れ、安定した生活を送る。
- ・新しい環境や園生活に親しみをもつ。



- ① 保育者の話しかけなどを通して、発語が促されることによって言葉を遣うことを楽しめるようにする。
- ② 保育者が一人ひとりの子どもの気持ちを理解し、受容することによって信頼関係を深め、安心して過ごせるようにする。
- ③ 保育者と聞く、見る、触るなどの経験を通して、目、耳、手、指などの感覚の働きを促し、気持ちを表現する力を豊かにする。
- ④ 食事や排泄、衣服の着脱といった基本的な生活行動に興味を持ち、自らやろうとする気持ちを持てるようにする。

<4月のねらい>

- ・新しい友だちや保育者に興味をもったり、環境に慣れ親しんだりして安心して過ごす。
- ・春の自然に触れながら、戸外遊びを楽しむ。



- ①自分のことを自らしようとする気持ちを育てる。
- ②保育者の話をよく聞き、物事の良し悪しを覚える。
- ③好きな玩具、遊具、自然に自ら関わり、十分に遊ぶ。
- ④様々な遊びを通して子ども同士の関わりを持つ。
- ⑤保育者に見守られ、身の回りのこと（食事・排泄・着脱等）が自分でできるようになる。

<4月のねらい>

- ・新しい環境や生活リズムに慣れる。
- ・保育者や友だちと関わる中で、好きな遊びを見つける。



- ① 基本的な生活習慣の自立を図る。
- ② 保育者や友だちと関わり、集団としての意識を持つ。
- ③ 保育者や友だちとの関わりの中かで自己主張し合いながら、集団として協力、協調し関係を深めていく。
- ④ 自分のしたいことや困っていることを言葉に表す。
- ⑤ 物を大切にするなど、簡単な決まりや約束を守る。

<4月のねらい>

- ・新しいクラスや保育者に親しみを持つ。
- ・新しい環境での過ごし方、生活の流れを知る。
- ・気持ちや行動を受け止めてもらい、保育者との信頼関係を育み、安心して過ごす。



- ① 身の回りのことを自ら行う。
- ② 保育者の話を理解して行動する。
- ③ 人の話を聞いたり、自分の経験したことや思ったことを話したりして、友だちとの繋がりを広げ、集団で活動することを楽しむ。
- ④ 身近な用具や道具を使い、十分に身体を動かして遊ぶ。

<4月のねらい>

- ・進級したことを喜び、安定した生活の中で、一人一人の欲求を満たし、安心して過ごせるようにする。
- ・約束事を守りながら生活する中で、身の回りのことを丁寧に行う。
- ・保育者や友だちと一緒に身体を動かして遊ぶことを楽しむ。



- ① 身の回りの始末ができ、健康で安全な生活に必要な生活習慣や態度を身に付ける。
- ② 人の話を注意して聞き、相手にもわかるように話す。
- ③ 自分の役割を知り、友だちと協力して共通の目的に向かって最後までやり遂げようとする。
- ④ 友だちや異年齢での関わりを通し、思いやりや労りの気持ちを持って生活し、遊ぶ。
- ⑤ 身近な社会や自然事象への関心を深め、美しさや尊さなどに対する感性を豊かにする。

<4月のねらい>

- ・年長児になった喜びを感じながら、1日の生活リズムを知って、意欲的に生活する。
- ・友だちに意見を伝え合ったり、相談したりしながら遊びを広げる。

保健だより

ご入園、ご進級おめでとうございます。喜びと期待いっぱいの笑顔に出会うことができ、とても嬉しく思います。看護師は本園は山田聡子、分園は小山里香が担当させていただきます。園児の皆さんが毎日を元気に過ごすことができるようにしていきたいと思います。1年間よろしくお願ひいたします。

4月の目標
園生活に慣れ、
安心して過ごす

【年間の保健予定】

- 全園児健康診断（年2回）
- 歯科健診（年2回）
- 頭囲胸囲計測（年2回）
- 視力測定（年1回 月組）



【毎月の保健活動】

- 0歳児健診
- 身体測定
- 健康教育

毎月、幼児クラスを対象に、身体の働きや健康の保持・増進についてお話ししていきます。



健診や測定の結果はKindyにて配信いたします。
ご確認をお願いいたします。

【体調不良時やケガの対応】

- 37.5℃以上の発熱があった場合には1時間以内にお迎えに来ていただくようお願いいたします。また、解熱した翌日は体調を整えるため、ご家庭にて様子を見ていただくようお願いいたします。
- 熱がない場合でも、機嫌が悪い・食欲がないなどで集団保育が難しい場合や、嘔吐・下痢・発疹など感染症の可能性のある症状が見られる場合にもお迎えをお願いすることがあります。
- お子さんが保育時間内にケガをした時は、応急処置を行い、医療機関受診が必要となる場合は保護者に確認の上、受診します。（緊急を要するに場合は救急車を要請します。）
- 状況の報告や、お迎えのお願いは緊急連絡先にさせていただくため、必ず連絡がつくようお願いいたします。緊急連絡先に変更がある場合は必ず職員にお声掛け下さい。ご理解とご協力をお願いいたします。

【薬の預かりについて】

園では、原則として薬の預かりはしていません。健康に支障が見られる時には早めに受診し、薬の服用が必要なほど体調が悪い時は、自宅で静養してください。慢性疾患などでやむを得ない場合のみ、相談の上、医師記入の与薬指示書を提出いただき、お受けする場合があります。

- 医師の処方以外の薬はお預かりできません。
- 薬に名前を明記してください。
- 登園時に必ず職員に手渡しして下さい。



【お願い】

- お子さんや同居のご家族の方が、新型コロナウイルス感染症に罹患、検査をした場合は、すみやかに園にご連絡をいただきますようお願いいたします。
- 予防接種は体調の良い時に計画的に接種して下さい。接種後は副反応の恐れがあるため、降園後やお休みの日など、家庭保育ができるときに接種することをお勧めします。



食育だより

《園の食事について》

～年間目標～

『美味しく楽しく食べる子ども』

乳幼児期から豊かな食の体験を重ねる事は、生涯にわたって健康で生き生きとした生活を送る基礎となります。当法人では、年間目標を基に季節や旬の食材に合わせて日々食事を提供しています。また、「植えるの“植”・触るの“触”・食べるの“食”」の3つの“しょく”を乳幼児期の「しょくいく」として日々の教育、保育に取り組んでいます。

1年を通して「園と家庭をつなぐ食」を大切にしていきます。園の食事内容をより理解して頂けるよう、食育コーナー・おたより・ホームページ等でもお伝えしていきますのでぜひご覧ください。

～年間予定～

『季節の食材“旬”について』

昨年度は郷土食を献立の中に取り入れ、子どもたちが、日本の様々な風土に親しみをもち、その土地ならではの食事を味わえるようにしました。今年度は各季節に旬を迎える野菜・果物・魚について子どもたちに伝えながら3つの『しょくいく』に取り組んでいきます。旬の美味しい食べ物に親しみをもちだけでなく、日本の美しい四季に興味を持つことが出来るような献立を1年間提供していきます。

～4月献立の思い～

今年度も園で過ごす1日1日を大切に、美味しく、安心・安全な給食を提供していきます。

- ★新しい環境に慣れ楽しく食事ができるよう、家庭での食事のように親しみやすい献立を取り入れています。
- ★子どもたちが食べやすいように年齢に合わせた食材の切り方、味付けに配慮しています。
- ★春野菜に親しみ、香りや味覚を楽しめるように旬の野菜を多く取り入れ、食材に興味を持てるように工夫をし、色彩でも春らしさを感じられる献立にしています。
- ★友達と一緒に食べる楽しさや喜びを感じながら、落ち着いて食事をする事ができるように家庭的なランチルームを心がけています。

～先月の食育の様子～

3月のテーマ野菜は新玉葱と新ごぼうでした。幼児クラスは、普通の玉葱と新玉葱を触り比べ、感触や色の違いを楽しみました。2歳児クラスは、たわしを上手に使いながらぼうを洗い「しろくなったよ」と泥の落ちたごぼうを嬉しそうに見せてくれました。



《園での食事の配慮として次の事に気をつけています》

◇旬の食材を豊富に献立に取り入れています。

◇安心、安全な食材を仕入れています。

◇だしは市販だしの使用を控えています。

かつおや昆布、野菜のくずからだしをとるなど、各園で素材の味を活用する工夫をしています。

◇味付けは薄味で素材の味を活かすように心がけています。

乳児は酸味のあるサラダや汁物などは食べやすいように配慮し、提供しています。

◇個々の喫食量を把握し、成長に見合った盛りつけをしています。

◇その他美味しく食べてもらうために、その日の天候や活動状況に見合った温度や調味、見た目にも楽しみとなる彩り、食べやすい切り方や食具・食器の使用にも配慮しています。

《園で提供しない食材について》

誤嚥事故を防止するため、以下の食材に関しては園にて提供をしません。ご家庭でもなるべく提供を控えることをおすすめします。

〈園で提供しない食材〉

食 材	理 由
煎り大豆、うずらの卵、飴、球形チーズ	球形という形状が危険な食材のため
ミニトマト、巨峰、マスカット、さくらんぼ	球形という形状が危険な食材のため、大玉トマトやデラウエア等に代替する
餅、白玉団子	つるつるしているため噛む前に誤嚥してしまう危険が高いため
いか	小さく切ることで、加熱すると固くなりかみ切れず、気道に入る危険がある食材のため
カニ、種実類（アーモンド、ピーナッツ）、マンゴー、キウイ、そば	乳幼児は食物アレルギーを引き起こしやすい食材とされているため

〈園の離乳食で提供しない食材〉

食 材	理 由
えび、パイナップル	乳幼児は食物アレルギーを引き起こしやすい食材とされているため
こんにゃく、白滝、練り製品（かまぼこ、竹輪）	誤嚥を防ぐため
チョコレート、生クリーム、プリン、カスタードクリーム	乳児期に合った味（甘味）ではないため
ココア、紅茶、ミルクティー、緑茶、ほうじ茶	カフェインが入っているため
はちみつ、黒糖	ボツリヌス菌が含まれているため
フランスパン、ベーグル	固く、食べづらいため。食パンやロールパンに代替える。
胚芽米、雑穀米、押し麦	消化に負担がかかるため
小魚	乳児期に合った固さでないため

